

2017年9月25日

各位

株式会社 三井住友銀行

株式会社神戸館の「SMB Cなでしこ私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社神戸館（代表取締役：小西弘明）の発行する「SMB Cなでしこ私募債」を買受け致しました。

「SMB Cなでしこ私募債」は、私募債買受け時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く商品です。

今回対象となりました、株式会社神戸館に対する診断結果は、今後、女性活躍が期待できる「女性活躍のグロース企業」となりました。

特に、株式会社神戸館では、以下のような取組と実績を有しておられます。

人材流動性の高い飲食業界において、従業員とのコミュニケーションを重視し、専門的なスキルの獲得やキャリアアップを支援。
女性顧客の支持を獲得するために、女性従業員で構成するプロジェクトチームによる店舗運営・メニュー開発等の企画に着手。
有給休暇や連休を制度化することにより年間の休日数を増やすなど、従業員が仕事と生活の両立に向けた取組を実施。

さらに同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向け、経営トップが、「自社で育てた従業員が長く働き、常にチャレンジし、若くして役職に就けることで活性化を図る。」を宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、

- ・ 2019年までに女性役職者数を10人以上とする
- ・ 2020年までに女性採用比率を50%以上とする
- ・ 2020年までに女性役職者が企画運営する新規店舗を2店舗出店する。

とコミットしておられます。

三井住友銀行では、「SMB Cなでしこ私募債」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

（ ）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。